

第41回高松矯正管区教誨師研修大会

平成25年7月11日開催

研究発表

- 発題 「輝いて生きよう」
発表者 徳島刑務所所属教誨師 岡本 慈勝
- 発題 「いま、教誨に願われていること」
一生きる意味を考える教誨を目指して—
発表者 高知刑務所所属教誨師 島崎 敬童
- 発題 「いま、教誨に願われていること」
発表者 丸亀少女の家所属教誨師 藤井 隆彦



基調講演

- 演題 「子育てを支える—今社会に問われること—」
講師 松山東雲女子大学特任教授 塩崎 千枝子 氏

分科会

第1部会

- 座長 松山刑務所所属教誨師 門田 和明
助言者 徳島刑務所首席矯正処遇官 由本 隆行 氏
助言者 高松刑務所統括矯正処遇官 吉岡 精二 氏



第2部会

- 座長 松山学園所属教誨師 二神 瑞隆
助言者 高松刑務所統括矯正処遇官 池西 幸則 氏
助言者 四国少年院統括専門官 北山 整 氏



分科会報告

- 司会者 松山刑務所所属教誨師 城崎 淳
報告 松山刑務所所属教誨師 門田 和明
報告 松山学園所属教誨師 二神 瑞隆
助言者 高松矯正管区成人矯正第二課長 金谷 道範 氏

成果

経験年数の少ない教誨師1名、経験年数の豊かな教誨師2名が、自らの教誨活動に基づく研究発表をした。いずれも苦勞している点等を誠実かつ熱心に発表し、出席者に感銘を与えていた。



また、松山東雲大学特任教授 塩崎千枝子氏の講演については、子育て及び子育てを助けることの難しさについての内容であり、被収容者の改善更生を導く難しさと相通ずるものがあって、今後の教誨活動に参考となった。